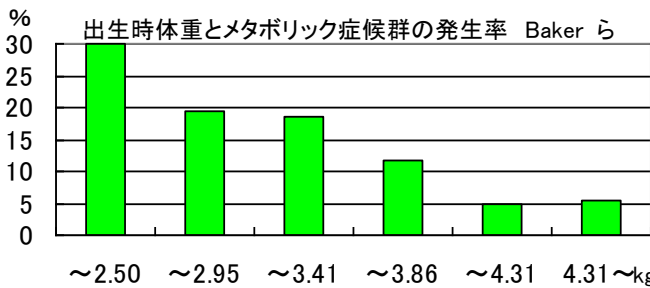


**や** やせた人しっかり食べてくんなせえ  
 <<成人病胎児起源説>>

「赤ちゃん(胎児)が大きいです」というと、産むのが大変と多くの妊婦さんが嫌がります。でも、生まれたあとの赤ちゃんがどんどん大きく成長すると嬉しいように、胎児も大きい方が好ましいです。「胎児が標準よりちょっと大きめ」などと言われれば、最も健康でベストといえます。胎児が小さい場合は、単なる個人差であって問題ない場合も多いのですが、何らかの疾患が背景にある可能性が、胎児が大きい場合よりは高くなります。

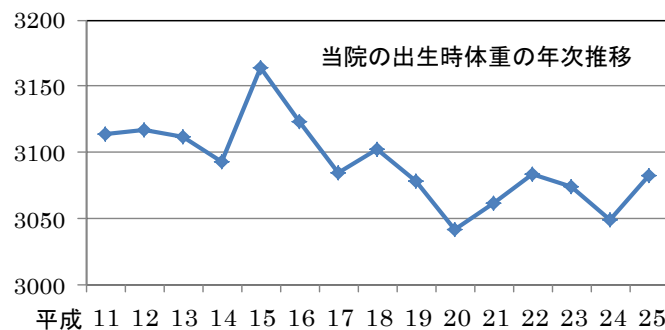
また出生時体重の小さい子ほど将来メタボリック症候群(内蔵型肥満、高血圧、糖尿病、高脂血症)になりやすいという英国の Baker らの「成人病胎児起源説」が近年注目されています。図のように、大きく生まれた子はメタボリック症候群になる率が低いですが、2500g 以下で生れた子は 30%に発症しています。子宮内で低栄養に晒された胎児は、この飢餓に適応しようと体内の代謝システムを「節約型」にシフトさせます。この状態は出生後も持続し、好転した体外環境にはむしろ過適応となり、成人病へ繋がると考えられています。



わが国においては 1980 年代より出生児の体重が減少しており、この 20 年間で 200g 以上減少していると報告されています。下のグラフは当院において正期産(妊娠 37 週~41 週)で生まれた赤ちゃんの出生時体重の最近 15 年間の推移を示したものです。平成 20 年までは著明に右肩下がりであり、平成 11 年のから 10 年間で 70g 以上も減少しました。最近是指導を見直したこともあり少し持ち直しています。

赤ちゃんの体重が減少している大きな原因は、やせた状態での妊娠といわれています。これまで妊娠中は太りすぎが問題視されてきましたが、特にやせた女性(BMI<18.5:身長 155cm で体重 45kg 未満、160cm で 48kg 未満)ではむしろ最低 9kg はしっかり体重が増加することが必要です。

また母乳で育てられた子の方が人工乳の子より肥満になりやすいことが知られており、低体重児こそ母乳で育てることが大切です。授乳によってお母さんもメタボリック症候群になりにくく、母乳育児は母子双方にとって有益です。



**ま** 巻いてないへその緒ちょっぴりあいたい  
 <<臍帯巻絡>>

胎児の首にへその緒が巻いている、と聞くと「とんでもないことだ」と心配される方が多数だと思えます。しかし、当院のデータでは満期の出産 7115 例中 2232 例、31.4%にこうした「臍帯巻絡」がみられました。決してとんでもないことでなく、結構ありふれた現象であることが分かります。

臍帯巻絡の有無が出産にどのような影響を与えたかをみてみましょう。まず吸引・鉗子分娩や帝王切開といった介入を要した割合を図左に示します。臍帯巻絡がなかった例と頸部に 1 回巻絡があった例では、帝王切開率に差はなくむしろ 1 回巻絡のあった例の方がやや低い位です。頸部に 2 回巻絡があると若干介入率が増加しますがそれでも 5%増程度です。さすがに頸部 3 回巻絡となりますと、30.9%と著明に高くなりますが、3 回以上のケースは全体の 0.6%しかありません。

新生児の出生児の状態の指標である、アプガー・スコア(10 点満点)に与える臍帯巻絡の有無の影響を図右に示しました。アプガー・スコアが 7 点以下だった割合は、臍帯巻絡なしと頸部 1 回とでほとんど差はなく、頸部 2 回で高くなっていますが、頸部 3 回以上では逆に低くなっています。また胎児が苦しかったか否かを客観的に示す臍帯動脈の pH も臍帯巻絡の有無、回数で差がみられませんでした。

なぜ臍帯巻絡があってもこのように胎児の状態に差がなかったのでしょうか? 3つの説明ができると思います。1つは、臍帯巻絡となるような臍帯は元々長い場合が多く、胎児の首に巻いていてもなお余裕があるからです。2つ目は、臍帯巻絡があっても臍帯に余裕がない場合には、胎児に影響が出ないように陣痛が穏やかになり、分娩がゆっくり進行する場合がありますからです。3つ目は、もし臍帯巻絡で実際に胎児が苦しくなった場合は、分娩中の胎児心拍モニターで検知され、帝王切開等の処置がとれるからです。

このように臍帯巻絡というのは「ない方がちょっぴりあいたい」というのが現場の感覚です。しかし冒頭でも述べた通り、とんでもないことと心配される方があまりにも多いために、エコーで臍帯巻絡があっても妊婦さんにはお伝えせず、ない場合にのみ「へその緒は首に巻いていませんね」と言う産科医も多いと思います。こういうのを「パターンリズム」(医師が患者さんに良かれと、父親のように全権的に決定すること)といい、現代医療では悪しきこととされています。しかし臍帯巻絡に関してだけは、産科医の善意のおせっかいが許されてもいいのではないかと思います。

